

<b>科目名</b> 成人看護援助論Ⅲ（1） 消化器	<b>授業担当者</b> 工藤 洋平	<b>所属</b> 中通高等看護学院	
<b>開講時期</b> : 中期～後期	<b>単位数</b> : 1 単位	<b>時間数</b> : 30 時間(消化器 12 時間)	
<b>授業の目的</b> 消化・吸収機能障害、栄養代謝機能障害をもつ対象を理解し、症状・治療に応じた看護ができる能力を養う。			
<b>授業の概要</b> 消化器は、食物の摂取・消化・吸収・代謝・排泄に関わる器官である。機能低下によって起こる症状、原因となる疾患とその治療の目的を理解し、疾病によって生じる患者の身体的、心理・社会的影響を考え、生活環境の変化を捉えながらその人らしい生活ができるよう適切な看護の方法について学習する。			
<b>受講上の注意・事前学習の内容</b> テキストや Learning Bowl に挙げた資料等をあらかじめ見て、学習する内容に関してイメージできていることが望ましい。 授業の資料は必要時事前に印刷し準備すること。			
<b>授業回数</b>	<b>学習内容</b>	<b>方法</b>	<b>備考</b>
1	腹部のアセスメントと観察	講義	
2	症状に対する看護/検査時の看護	講義	
3	肝障害のある患者の看護	講義	
4	胃の手術を受ける患者の看護	講義	
5	大腸の手術・ストーマ造設術を受ける患者の看護	講義	
6	胆石・膵炎の看護/膵臓の手術を受ける患者の看護	講義	
	試験		
<b>テキスト</b> 系統看護学講座 専門 消化器 医学書院 病気がみえる vol.1 消化器 メディックメディア			
<b>参考書・指定図書</b> 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論 医学書院			
<b>評価の方法</b> 筆記試験 成人看護援助論Ⅲ 100 点満点中の 40 点			

\*この科目は実務経験のある教員による科目となります

<b>科目名</b> 成人看護援助論Ⅲ（2） 内分泌・代謝	<b>授業担当者</b> 堀川 砂織	<b>所属</b> 中通総合病院	
<b>開講時期</b> : 中期～後期	<b>単位数</b> : 1単位	<b>時間数</b> : 30 時間(内分泌・代謝 8 時間)	
<b>授業の目的</b> 内分泌・代謝機能障害をもつ対象を理解し、症状・治療に応じた看護ができる能力を養う。			
<b>授業の概要</b> 1. 内分泌・代謝障害の症状の成因と患者に及ぼす影響がわかる。 2. 内分泌・代謝障害のある患者への適切な看護がわかる。			
<b>受講上の注意・事前学習の内容</b> ・事前学習として教科書に目を通し、内分泌・代謝疾患を持つ患者への看護のイメージをつかんでおく。 ・講義資料はプリントアウトし当日配布。			
<b>授業回数</b>	<b>学習内容</b>	<b>方法</b>	<b>備考</b>
1	・内分泌・代謝異常を持つ患者の特徴と看護の役割 ・内分泌疾患患者の看護	講義	
2	・代謝疾患患者の看護	講義	
3	・糖尿病患者の看護(食事療法・運動療法・薬物療法)	講義	
4	・糖尿病患者の看護(薬物療法・インスリン自己注射・自己血糖測定)	講義・演習	
	試験		
<b>テキスト</b> 系統看護学講座 専門 内分泌・代謝 医学書院			
<b>参考書・指定図書</b> 日本糖尿病学会編 糖尿病食事療法のための食品交換表 文光堂 日本糖尿病学会編 糖尿病治療の手引き 南江堂			
<b>評価の方法</b> 筆記試験 成人看護援助論Ⅲ100点満点中の30点			

\*この科目は実務経験のある教員による科目となります

<b>科目名</b> 成人看護援助論Ⅲ（3） 造血・免疫・感染	<b>授業担当者</b> 小田嶋 陽子	<b>所属</b> 中通高等看護学院	
<b>開講時期</b> :後期	<b>単位数</b> :1 単位	<b>時間数</b> :30 時間（造血・免疫・感染 10 時間）	
<b>授業の目的</b> 造血・免疫機能障害の疾患、感染症を理解し、症状・治療に応じた看護ができる知識・スキルを養う。			
<b>授業の概要</b> 造血機能障害は治療法が進歩したとはいえ、未だ急性増悪と寛解を繰り返しながら予後不良の経過をたどることが多く、治療による入退院等の環境の変化や副作用出現の苦痛、ボディイメージの変容、家族・社会生活での役割の変化など、身体面だけではなく精神面・社会面での援助が必要とされる。また、免疫機能障害はアレルギーから膠原病・難病指定疾患まで幅広く、患者は特徴的な症状を呈しながら副腎皮質ステロイド薬をはじめとする長期の薬物療法を必要とすることが多い。そして、感染症は多くの疾患の中で罹患率や死亡率のかなりの部分を占めている。この講義では造血・免疫・感染についての知識を深め、患者に対するアセスメントの視点や適切な看護の方法について学習する。			
<b>受講上の注意・事前学習の内容</b> ラーニングポータルにアップされている資料を準備し臨むこと。			
<b>授業回数</b>	<b>学習内容</b>	<b>方法</b>	<b>備考</b>
1	造血機能障害をもつ患者の特徴と看護 貧血・輸血時・易感染状態・出血傾向にある患者の看護	講義	
2	白血病患者の看護 急性白血病患者の看護事例	講義	DVD の視聴
3	慢性白血病患者の看護 造血幹細胞移植の看護	講義	
4	アレルギー疾患患者の看護 膠原病患者の看護	講義	
5	感染症患者への看護	講義	
	試験		
<b>テキスト</b> 系統看護学講座 専門 血液・造血器 医学書院 系統看護学講座 専門 アレルギー・膠原病・感染症 医学書院			
<b>参考書・指定図書</b> 病気がみえる vol.5 血液 メディックメディア 造血幹細胞移植の看護 改訂第2版 南江堂			
<b>評価の方法</b> 筆記試験とレポート 成人看護援助論Ⅲ 100 点満点中の 30 点			

\*この科目は実務経験のある教員による科目となります